

危険業務従事者叙勲

昭和28年から41年余りにわたり、警察および消防に勤務し、この間、終始一貫して公共の安全や秩序を維持するため誠実に職務を遂行し、地域住民の福祉の向上と秩序の保持に努められました。また豊かな航空経験から全国の災害現場で数々の功績を納めたほか、川崎市消防の航空体制の確立と安全運航に尽力されました。



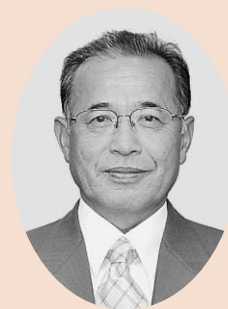
瑞宝双光章

(消防功労)

島村 宏さん
75歳 (イ)

危険業務従事者叙勲

昭和41年、消防吏員に任命されて以来38年余りにわたり、卓越した知識経験と指導力を発揮して消防職や団員の指導育成と資質の向上に貢献されました。組合消防本部設立後の変革期には、消防車両の改良整備や各消防団との協力体制の強化などに率先奔走するなど、消防任務遂行のため尽力されました。



瑞宝双光章

(消防功労)

斎藤忠雄さん
65歳 (後草)

秋の褒章

昭和61年、保護司に就任して以来22年余りの長きにわたり、社会奉仕の精神に徹し、罪を犯した少年らの改善更正と地域社会の環境浄化に従事されています。また保護観察対象者の改善更正に尽力され、数多くの保護観察と生活環境調整を担当し、再犯防止や立ち直りに努められました。



藍綬褒章

鈴木國司さん
75歳 (高生)

危険業務従事者叙勲

昭和43年、海上自衛隊に入隊以来33年にわたり、終始積極的に職務を遂行し、隊の充実発展に尽力されました。この間、第21整備補給隊第211検査隊検査班などに勤務し、航空機の整備をはじめ電機計器や各種装備品の検査、調整、品質管理などの業務に従事し、国民の安全や国土の保全に貢献されました。



瑞宝単光章

(防衛功労)

林 樹さん
62歳 (イ)

飯岡小吹奏楽部が

東日本優秀演奏発表会に出場

日々練習を重ねる飯岡小吹奏楽部が、千葉県代表の1校として、12月13日(日)に習志野文化ホールで開かれる東日本優秀演奏発表会管楽合奏の部に、出場を決めました。吹奏楽部は、9月6日に同ホールで開かれた、TBSこども音楽コンクールで最優秀賞を獲得し大舞台での発表を手にしました。本番では、4年生から6年生の39人が、精いっぱい「アトランティス」(樽屋雅徳作曲)を演奏します。



▲小学校音楽会で演奏する吹奏楽部 (11月6日/東総文化会館)

特産品を求め133,000人が来場

産業まつり

地元産品のPRと市民の交流を図る産業まつりが、11月8日の干潟会場（干潟中学校）をスタートに、15日の旭会場（旭スポーツの森公園）、23日の海上会場（海上コミュニティ運動公園）と、3か所で開かれました。今年は会場ごとにテーマを設定して、「あさひ」をPR。どの会場もたくさんのテントが並び、新鮮野菜やさまざまな産品を求める人や、特設ステージで行われるイベントを楽しむ家族連れらで、にぎわいました。



▶もち投げには7俵のもち米を使用（干潟会場）



▶4,000株の花飾りには「あ・さ・ひ」の文字（旭会場）



▶地元産の新鮮野菜16品目で作られた宝船（海上会場）

会場に響く軽快なリズムと歌声

旭市小学校音楽会

市内の小学校が一堂に会して、日ごろ練習した演奏を発表する小学校音楽会が11月6日、東総文化会館で開かれました。3校を除く12校の生徒が金管合奏や吹奏楽、合唱を披露。「どの学校も、みんな上手だった」「楽しく演奏することができた」と、笑顔を見せる子どもたち。最後に、参加者全員で「もみじ」を合唱すると、会場からの大きな拍手が子どもたちを包み込みました。



▲手話を交えての合唱（萬歳小）

粘りのプレーで飯岡FCが勝利を呼び込む

第16回ピースカップ少年サッカー大会



▲粘り強い戦いで優勝した飯岡FC

県内外から18チームが参加したサッカー大会が、10月24日、25日に匝瑳市野手浜総合グラウンドで開かれ、市内からFCあさひと飯岡FCが出場しました。決勝に進んだ飯岡FCは、成田SSSと対戦。互いに全力プレーを見せ0対0のままPK戦に突入しましたが、キーパーがPKを止める活躍を見せた飯岡FCが、接戦を制しました。

ダルシムが41チームの頂点に

旭市秋季野球大会

9月から熱戦を繰り広げてきた秋季野球大会の決勝が10月11日、旭スポーツの森公園野球場で行われ、ダルシムが2対0でFCBを下し、優勝を飾りました。ダルシムは初回2点を先制し、その後相手の攻撃を抑え完封勝ち。見事、参加41チームの頂点に立ちました。



▲完封で優勝を決めたダルシム